

第2回 第15採択地区 教科用図書採択協議会議事録

令和2年7月16日（木）

第15採択地区教科用図書採択協議会事務局

第2回 第15採択地区教科用図書採択協議会 議事録

開 会：令和2年7月16日（木）午後1時30分

閉 会：令和2年7月16日（木）午後3時29分

会議場：秩父市役所 4階 第1.2委員会室

傍聴者：10名

出席委員

秩父市教育委員会教育長	倉澤 俊夫（会長）
秩父市教育委員会委員	高野 豊子
秩父市教育委員会委員	山中 直子
横瀬町教育委員会教育長	設楽 政夫
横瀬町教育委員会委員	浅見 進
横瀬町教育委員会委員	平塚 一寛
小鹿野町教育委員会教育長	笠原 浩
小鹿野町教育委員会委員	齊藤 榮一
小鹿野町教育委員会委員	中山 忍
皆野町教育委員会委員	小笹 昭二
皆野町教育委員会委員	小林 歌織
長瀬町教育委員会教育長	野口 清
長瀬町教育委員会委員	田端 祥邦
長瀬町教育委員会委員	西山 忠文

出席事務局職員

秩父市教育委員会事務局教育研究所長	飛川 成正
秩父市教育委員会指導主事	島寄 紀江
横瀬町教育委員会指導主事	林 和彦
小鹿野町教育委員会指導主事	小野 仁士
皆野町教育委員会指導主事	山中 崇
長瀬町教育委員会指導主事	坂本 浩朗

1 開 会

秩父市教育委員会事務局教育研究所長
第2回第15採択地区教科用図書採択協議会を開会する。

2 会長あいさつ

第15採択地区教科用図書採択協議会会長
本協議会を代表して、一言あいさつ申し上げる。
各委員の皆様には、ご多用の中お集まりいただき、感謝申し上げます。さて、本

日は中学校の新学習指導要領での各教科における中学教科書採択を行う。昨年度の小学校教科書と同様に、道徳科を含む全ての教科書について新たに採択を行う。教科書採択は、社会的な関心も高く、調査員会等の関係の会議では、公正性・透明性に一切の懸念を生じさせることがないよう、慎重かつ適切に調査を進めてきたところである。

本日の協議においては、その調査員会において約2か月にわたり調査研究を行った中学校調査部会11部会の報告をお願いしている。その上で、協議については活発に議論を行い、この協議会として、最もふさわしい教科用図書を選定したいと考えている。

各委員の皆様には、教科用図書無償措置に関する法令規程を踏まえると共に本協議会における規程に沿って、協議を進められるよう、お願い申し上げます。

簡単ではあるが、以上であいさつとする。

3 議 事 ※議長は、規約第10条の2に基づき会長が務める。

(1) 教科用図書研究等の経過及び結果報告について

議 長：「教科用図書研究等の経過及び結果報告」について事務局より報告する。

事務局：〈ア 来場者の状況について〉

今年度の教科書展示会は、6月12日から25日までの14日間行われた。会場は、昨年度同様、秩父市歴史文化伝承館2階会議室で行われた。来場者数は、合計276名が来場した。ちなみに、昨年度は、480名だったが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度採択を終えている小学校へは、代表者のみの来場を呼びかけた。しかしながら、中学校関係者を中心に、採択の年にあたり関心が高かったと思われる。

〈イ 保護者等の意見について〉

教科書展示会の来場者の意見については、別冊「令和2年度教科書展示会アンケート記述一覧」のとおりである。内容としては、色や図など見やすく工夫されている点や、社会科や道徳科の内容に関心が高かったこと、保健体育科で感染症についての取り扱いについてなどが記述されており、社会の動きに合わせた意見などが出されていた。

〈ウ 校内研究結果のとりまとめ表について〉

令和3年度使用中学校教科用図書の各学校における校内研究を取りまとめ、各市町ごとに集計したものは、7月3日に事務局に提出され、それぞれ、別冊の調査研究報告書の最終ページに掲載をしている。教科によっては複数回答のため、全学校数よりも多い数の教科もあるが、参照をよろしく願いたい。

〈エ 調査員会の開催日程等〉

5月21日に中学校各教科第1回を秩父市歴史文化伝承館ホールを会場に全11調査員会が行われた。その後、5月29日から7月1日かけて、各部会全3～4回、延べ37回で行われた。

議長：「教科用図書研究等の経過及び結果報告」の説明について、質問や意見はあるか。質問や意見なしでよろしいか。
（「はい」という声あり） それでは、確定とする。

(2) 令和3年度使用中学校用教科用図書の採択
教科調査員による研究報告（中学校）について

ア. 国語科(国語)

議長：「中学校国語科(国語)」調査員代表の入室を求める。

(ア) 調査員代表による説明

(東書、三省堂、教出、光村の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員： 発行者名、三省堂を推薦する。すべての教材の学びの「道しるべ」で、学習活動の手順を丁寧に示し、思考の方法や語彙を豊かにする工夫がある。わかりやすく情報が整理され、スムーズな学習指導が展開できる。また、文章を正確に読みとき、深く読み味わうための技術やコツが示されている。文字の大きさや行間がすべての生徒にとって読みやすく、学びやすい配色、わかりやすい図解や見開き完結のレイアウトになっている。巻末の資料も含め、教員にとっても子供たちにとっても、使いやすい教科書ということで推薦したい。

(イ) 質疑・協議等

議長：「中学校国語科(国語)」について質問、意見があれば挙手を願いたい。

委員：特になし。

議長：特になければ質疑・応答を終了する。

〔調査員代表退席〕

(ウ) 選定

議長：調査員代表者は、三省堂を推薦したが、他に意見はあるか。

委員：特になし。

議長：特になければ、国語科(国語)は、三省堂を選定でよいか。

委員：異議なし。

議長：中学校国語科(国語)は、三省堂を選定する。

イ. 国語科(書写)

議長：「中学校国語科(書写)」調査員代表の入室を求める。

(ア) 調査員代表による説明

(東書、三省堂、教出、光村の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員：最適な教科書は光村図書であります。その理由として、まず、学習過程を通して「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう、単元構成や教材内容が工夫されていることが挙げられる。次に、手本の見やすさが挙げられる。行書の基本的な書き方を学ぶ教材では、半紙原寸大の手本が掲載されており、大きくわかりやすい教材文字で学びやすく工夫されている。実際に、生徒の机に置いてみると、サイズも大きすぎず、見やすく書きや

すいことが確かめられた。さらに、「書写ブック」(硬筆練習帳)の存在が挙げられる。「書写ブック」は毛筆の学習を生かして、硬筆に生かして書くことができるよう工夫されている。豊富な教材が収められており、繰り返し学ぶことで確かな書く力を育むことができる。切り離して使用することができるこの「書写ブック」は、独自の工夫だといえる。以上の理由から、光村図書が相応しいと考える。

(イ) 質疑・協議等

議長:「中学校国語科(書写)」について、意見があれば挙手を願いたい。

委員:特になし。

議長:特になければ質疑を終了する。

[調査員代表退席]

(ウ) 選定

議長:調査員代表者は、光村図書を推薦したが、他に意見はあるか。

委員:特になし。

議長:特になければ、国語科(書写)は、光村図書を選定でよいか。

委員:異議なし。

議長:中学校国語科(書写)は、光村図書を選定する。

ウ. 社会科(地理・歴史・公民・地図)

議長:「中学校社会科(地理・歴史・公民・地図)」調査員代表の入室を求める。

(ア) 調査員代表による説明(地理)

(地理は、東書、教出、帝国、日文の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員:地理は東京書籍を推薦する。三分野(地理・歴史・公民)共通の特色として、単元を貫く探求課題を立てる導入から、探求課題を解決する「まとめの活動」の形で単元を構造化し、課題解決的な学習の構成であることが一貫している。二点目として、展開部分について、1単位ごとの学習内容の確実な定着のための工夫がある。1時間の学習で追求する学習課題が示され、見通しをもって学習を進めることができ、基礎・基本を確認するチェックと説明等、表現したりするトライの2段階で学習内容の定着を図っている。また、本文と資料掲載部分が色分けがされ、本文との違いを明確にしている。三点目として、多様なツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」が一貫している。まとめ方の手順や例も示され、生徒にとって取り組みやすい構成となっている。他の分野と関連している資料や特設ページには、「分野関連マーク」が設定され三分野の系統的な学習が展開できるよう工夫されている。領土をめぐる問題については、地理的な見方、歴史的な背景解決に向けてと記述内容を明確にし、「野関連マーク」によって関連付けて学習できるよう工夫されている。地域調査の手法については、防災を主題として高知市

を例に取り上げているが、教科書左側に調査方法の紹介、右側に高知市の具体例が示され、わかりやすい配置となっている。調査の解説の方法が詳しく、生徒は取り組みやすい構成となっている。地域のあり方の学習では、設定した地域課題や変容に注目したり、地域の将来像を提案したりする活動を充実させ、主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるように工夫されている。

(イ) 質疑・協議等

議長:「中学校社会科(地理)」について質問、意見があれば挙手を願いたい。

委員:特になし。

議長:特になければ質疑を終了する。

(ア) 調査員代表による説明 (歴史)

(歴史は、東書、教出、帝国、山川、日文、育鵬社、学び舎の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員:歴史分野については、東京書籍を最適な出版社として推薦する。東京書籍を推薦する理由は、共通する三点については先ほど(地理)申し上げたとおりである。「地域の歴史を調べよう」では、時代や地域、時代が異なる独自例が示されている。どの事例においても、テーマ設定、調査、考察、まとめの流れとなっており、身近な地域を調べる調査の事例から、郷土の伝統や文化を大切にしたり、調査したり、資料を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けることができる構成となっている。また、見方・考え方、スキルアップ、「みんなでチャレンジ」歴史にアクセス等の、コラムの活動などから、歴史学習に必要な時期や年代、推移、比較、相互の関連、現在のつながりなど、歴史的見方・考え方が身に付く構成となっている。

(イ) 質疑・協議等

議長:「中学校社会科(歴史)」について意見が、あれば挙手を願いたい。

委員:特になし。

議長:特になければ質疑を終了する。

(ア) 調査員代表による説明 (公民)

(公民は、東書、教出、帝国、日文、自由社、育鵬社の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員:公民に関しては、東京書籍を最適な出版社として推薦する。共通する三点については、先ほど(地理)のとおりである。SDGsに示されるように、持続可能な社会を実現するために解決すべき課題を適宜取り上げ、学習内容と関連付けて考察できるような工夫がされている。中学生が社会参画している事例を取り上げたりすることで、持続可能な社会の形成に必要な一人ひとりの社会参画について、具体的な事例をとおして理解することができる。また、対話的な学習の場面が、「みんなでチャレンジ」に

より設けられ、多面的・多角的な見方や考え方を広げ、社会参画する態度を養う工夫がされている。

(イ) 質疑・協議等

議長:「中学校社会科(公民)」について意見が、あれば挙手を願いたい。

委員:特になし。

議長:特になければ質疑を終了する。

(ア) 調査代表による説明(地図)

(地図は、東書、帝国の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員:帝国書院を最適な発行者として推薦する。地図については、帝国書院を推薦する理由として、世界の各州の学習では、全ての州でイラストを盛り込んだ鳥瞰図が掲載されており、地域的特色や語句などを視覚的に捉えることができる。世界の各州の学習、日本の各地方の学習の資料では、同縮尺の図・資料が掲載されており、比較や重ね合わせて見ることで様々な要因から事象を検証することができる。「地図活用」では、地図や資料を活用する場面を意図的に設置しており、問いを解決していく中で基本的な技能や多角的な見方が深まっていくことが期待できる。

(イ) 質疑・協議等

議長:「中学校社会科(地図)」について意見が、あれば挙手を願いたい。

委員:特になし。

議長:特になければ質疑を終了する。

[調査員代表退席]

(ウ) 選定

議長:調査員代表者は、地理は東京書籍、歴史は東京書籍、公民は東京書籍、地図は帝国書院を推薦したが、他に意見はあるか。

委員:特になし。

議長:特になければ、地理は東京書籍、歴史は東京書籍、公民は東京書籍、地図は帝国書院を選定でよいか。

委員:異議なし。

議長:中学校社会科は、地理は東京書籍、歴史は東京書籍、公民は東京書籍、地図は帝国書院をを選定する。

エ. 数学科

議長:「中学校数学科」調査員代表の入室を求める。

(ア) 調査員代表による説明

(数学科は、東書、大日本、学図、教出、啓林館、数研、日文の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員:調査委員会で検討した結果、東京書籍となった。その理由としては、巻頭でこの本の使い方、大切にしたい数学の学び方、ノートの作り方が掲載されている。各章の導入では、主体的な学びのための「章のとびら」「学習課題」と「問い」が設けられている。章末には、数学の良さが実感できるように、社会で数学

を活用している人を紹介する「学びをひろげよう」、巻末には、深い学びを振り返ることができるように大切にしたい見方・考え方が設けられている。教科書の中身がいくつかのキーワードで統一されているため、生徒にとって学びやすい工夫がされている。また、教師側にとっても課題設定をしやすく、指導すべき内容がまとめられているので教材研究がしやすくなっている。教科横断的な視点で、数学と他教科、数学と身の回りにあるもの、との関連性について期待されている。さらにICT機器を活用するデジタル情報が充実しているという理由からである。

(イ) 質疑・協議等

議長：「中学校数学科」について、意見があれば挙手を願いたい。

委員：特になし。

議長：特になければ質疑を終了する。

〔調査員代表退席〕

(ウ) 選定

議長：調査員代表者は、東京書籍を推薦したが、他に意見があるか。

委員：特になし。

議長：特になければ、中学校数学科は、東京書籍を選定でよいか。

委員：異議なし。

議長：中学校数学科は、東京書籍を選定する。

オ. 理科

議長：「中学校理科」調査員代表の入室を求める。

(ア) 調査員代表による説明

(理科は、東書、大日本、学図、教出、啓林館の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員：調査研究の結果、東京書籍を推薦する。理由としては、内容面で巻頭の「科学で調べていこう」で探究課程の流れがわかり、各節ごとにマークと脚注のフローチャートで探究の課程が示されている。各節の導入で、生徒自ら気づきを得たり、認知的葛藤を生ずる問いかけがあるために、興味関心が高まり、主体的に学べるようになっている。また、生徒自らの観察、実験の結果を根拠に考察して問題を解決できるように、観察、実験、結果は同一の見開きには示さない工夫がされている。次に、装丁面からは、5社の中で、唯一のA4サイズのスリム版を採用し、縦に4cm大きくなったことで、写真も大きくなり、鮮明で、色合いもよく、細かな部分まで見やすくなっている。さらに、本文の位置を左側に揃えて、視線の移動を少なくし、改行の幅や図のレイアウトなど、見やすく 学習しやすいデザインが徹底されている。また、特に重要なことは、焦点化されていて、わかりやすい編集がなされている。資料が豊富で、実験、観察への興味を高め、SDGsや防災等今日的な課題へも対応している。

(イ) 質疑・協議等

議長：「中学校理科」について、意見があれば挙手を願いたい。

委員：特になし。

議長：特になければ質疑を終了する。

〔調査員代表退席〕

(ウ) 選定

議長：調査員代表者は、東京書籍を推薦したが、他に意見があるか。

委員：特になし。

議長：特になければ、中学校理科は、東京書籍を選定でよいか。

委員：異議なし。

議長：中学校理科は、東京書籍を選定する。

カ. 音楽科（一般・器楽）

議長：「中学校音楽科（一般・器楽）」調査員代表の入室を求める。

(ア) 調査員代表による説明（一般）

(音楽科（一般）は、教出、教芸の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員：教育芸術社を推薦する。表現と鑑賞がバランスよく配置され、見通しをもった年間の学習ができる。また、学習の手順が明確に示され、基礎的な知識・技能の習得ができるように工夫されている。ワークシート形式になっている部分では、生徒が自分の考えを書き込みながら、音楽表現を主体的に工夫できるよう、その過程を大切に扱っていたり、実際に演奏するなどの体験活動を結びつけたりしているので、基礎的な知識・技能の習得から主体的な学び、深い学びへとつなげることができる。

(イ) 質疑・協議等

議長：「中学校音楽科（一般）」について質問、意見等があれば挙手願いたい。

委員：特になし。

議長：特になければ質疑を終了する。

(ア) 調査員代表による説明（器楽）

(音楽科（器楽）は、教出、教芸の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員：教育芸術社を推薦する。小学校とのつながりを意識し、生徒の発達段階に適した曲が選定・充実している。それらが、段階的に学習できるように配置されており、基礎的な技能を身につけさせることができるようになっている。また、鑑賞と器楽の学習活動の関連を図っており、深い学びにつなげることができる。

(イ) 質疑・協議等

議長：「中学校音楽科（器楽）」について質問、意見等があれば挙手願いたい。

委員：特になし。

議長：特になければ質疑を終了する。

〔調査員代表退席〕

(ウ) 選定

議長：調査員代表者は、一般は教育芸術社、器楽も教育芸術社を推薦したが、他に意見があるか。

委員：特になし。

議長：特になければ、中学校音楽科は、一般は教育芸術社、器楽も教育芸術社を選定でよいか。

委員：異議なし。

議長：中学校音楽科は、一般は教育芸術社、器楽も教育芸術社を選定する。

キ. 美術科

議長：「中学校美術科」調査員代表の入室を求める。

(ア) 調査員代表による説明

(美術科は、開隆堂、光村、日文の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員：美術科の教科書として、日文を推薦する。理由は、生徒に創作意欲を喚起させる作品写真が効果的に掲載され、生徒が主体的に考えながら造形活動を行うことができる。もう、一点、美術を通して自分らしさを見つけ、思いを形にする大切さや楽しさを学べる構成となっている。

(イ) 質疑・協議等

議長：「中学校美術科」について、意見等があれば挙手願いたい。

委員：特になし。

議長：特になければ質疑を終了する。

〔調査員代表退席〕

(ウ) 選定

議長：調査員代表者は、日本文教出版を推薦したが、他に意見があるか。

委員：特になし。

議長：特になければ、中学校美術科は、日本文教出版を選定でよいか。

委員：異議なし。

議長：中学校美術科は、日本文教出版を選定する。

ク. 保健体育科

議長：「中学校保健体育科」調査員代表の入室を求める。

(ア) 調査員代表による説明

(保健体育科は、東書、大日本、大修館、学研の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員：第15採択地区として、最適な教科書の発行者は、東京書籍である。その理由を大きく二点申し上げる。一点目として、本文のページは、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4つのステップで学習の流れがわかりやすく示されており、「主体的・対話的で深い学び」とおして、健康の保持増進や豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成されるよう配慮されていること、さらに、学習内容に関連する、画像や動画等の豊富なDマークコンテンツが用意され、インターネットを活用し、生徒の学習を支援し、理解度を高められるよう工夫された教科書である。二点目として、基礎的・基本的な知識は、本文で簡潔にまとめられており、各章末には、発展的な資料や今日的な課題に関する資料が多く掲載されている。さらに、学

習のまとめとして、知識の習得状況を確認する「確認の問題」知識を活用して考える「活用の問題」さらなる学びにつなげる「日常生活に生かそう」が設けられており、知識の習得状況の確認と活用ができるよう、配慮され学習が進めやすい教科書である。

(イ) 質疑・協議等

議長：「中学校保健体育科」について、意見があれば挙手願いたい。

委員：特になし。

議長：特になければ質疑を終了する。

〔調査員代表退席〕

(ウ) 選定

議長：調査員代表者は、東京書籍を推薦したが、他に意見があるか。

委員：特になし。

議長：特になければ、中学校保健体育科は、東京書籍を選定でよいか。

委員：異議なし。

議長：中学校保健体育科は、東京書籍を選定する。

ケ. 技術・家庭科（技術分野・家庭分野）

議長：「中学校技術・家庭科（技術分野・家庭分野）」調査員代表の入室を求める。

(ア) 調査員代表による説明

(技術・家庭科は、東書、教図、開隆堂の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員：中学校技術・家庭科の教科用図書は、東京書籍のものが最適である。東京書籍の技術・家庭科の教科書は、技術分野と家庭分野の分冊となっているが、どちらの分野も同じ構成となっているので、推薦の主な理由も同様になっているが、各分野ごとに理由を説明する。まず、技術分野では、生徒が自身で思考を整理するための「思考ツール」が効果的に配置されており、物事の見方・考え方に気付かせる工夫がある。また、各編に「学習のまとめ」があり、これで確認することにより自己の到達度がわかり、再確認することで学習の定着を図れるようになっている。次に、家庭科分野ですが、各種のマークや資料の配置が見やすく、各項目に「思考ツール」の例を示して活用させることで、対話を助け、協働の学びを促す工夫がされている。そして、小学校、高等学校との関連が明確化されているだけでなく、技術分野や他教科との横断的な学習・学びを取り入れて学習を進められるようになっている。これらの理由により、調査員の意見が技術分野・家庭分野とも一致したので、東京書籍の教科用図書が最適であると報告する。

(イ) 質疑・協議等

議長：「中学校技術・家庭科」について質問、意見等があれば挙手願いたい。

委員：特になし。

議長：特になければ質疑を終了する。

〔調査員代表退席〕

(ウ) 選定

議長：調査員代表者は、技術分野は東京書籍、家庭分野も東京書籍を推薦したが、他に意見があるか。

委員：特になし。

議長：特になければ、中学校技術・家庭科は、技術分野は東京書籍、家庭分野も東京書籍を選定でよいか。

委員：異議なし。

議長：中学校技術・家庭科は、技術分野は東京書籍、家庭分野も東京書籍を選定する。

コ. 英語科

議長：「中学校外国語英語科」調査員代表の入室を求める。

(ア) 調査員代表による説明

(英語科は、東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員：最適な教科書として推薦するのは開隆堂の「SUNSHINE」である。理由は、漫画形式の対話文で、新出表現が楽しくわかりやすく理解できるよう工夫されている。単元が新出表現の理解、習得、本文の内容理解、そして、自分の言葉で本文を語る Retell、自己表現と言った、一連の流れで構成されていて、基礎基本の定着と、自己表現力の向上が図れるよう工夫されている。特に、「Retell」「Try」「Interact」「Our Project」の活動により、相手を意識したコミュニケーション能力や即興力の育成が期待できる。また、3年間を見据えた「Can-Do リスト」や伝え合う楽しさを味わう「Interact」、協働学習で学び合う「Our Project」など、新しい学習指導要領への対応がしっかり盛り込まれている。本文の内容としては、日本の伝統文化や国際理解、SDGsに関連した題材などがあり、視野を広げ、人間性を高めることもできる。小学校英語で、身に付けた力を高め、高校英語へと円滑につなげるよう工夫されている。教師にとって教えやすく、生徒にとって学びやすい教科書である。

(イ) 質疑・協議等

議長：「中学校英語科」について質問、意見等があれば挙手願いたい。

委員：特になし。

議長：特になければ質疑を終了する。

〔調査員代表退席〕

(ウ) 選定

議長：調査員代表者は、開隆堂出版を推薦したが、他に意見があるか。

委員：特になし。

議長：特になければ、中学校英語科は、開隆堂出版を選定でよいか。

委員：異議なし。

議長：中学校英語科は、開隆堂出版を選定する。

サ. 道徳科

議長：「中学校道徳科」調査員代表の入室を求める。

(ア) 調査員代表による説明

(道徳科は、東書、教出、光村、日文、学研、廣あかつき、日科の順に研究報告書に基づいて説明)

調査員：採択地区の最適な教科書として、学研を推薦する。その理由は、埼玉県や秩父地域に関する教材や資料が多数掲載されているので、生徒が興味関心をもちやすい。また、それをきっかけにして、道徳の授業に対する生徒の意識が高まり、円滑に進行することが推測できることが一点目である。二点目として、教科書のコンセプト、重点テーマ、つまり、「いのちの教育」「生命の尊重」が明確で、道徳の授業を通して何を身につければよいのかが、教師にも生徒にも理解しやすい。三点目、特定の価値観に縛られず、生徒が主体的に問題意識をもち考えを深められるように工夫されている。以上の三点である。

(イ) 質疑・協議等

議長：「中学校道徳科」について質問、意見等があれば挙手願いたい。

委員：特になし。

議長：特になければ質疑を終了する。

〔調査員代表退席〕

(ウ) 選定

議長：調査員代表者は、学研を推薦したが、他に意見があるか。

委員：特になし。

議長：特になければ、中学校道徳科は、学研を選定でよいか。

委員：異議なし。

議長：中学校道徳科は、学研を選定する。

(3) その他

議長：今後の教科用図書関係事務等について、事務局より願います。

事務局：＜ア 今後の教科用図書関係事務について＞

第15採択地区教科用図書採択協議会選定令和3年度年度使用中学校用教科用図書一覧表及び採択理由一覧表は、後日文書と電子データにて送信する。

＜イ 採択決議書等の提出について＞

採択決議書については、秩父市教育委員会内第15採択地区教科用図書採択協議会会長宛にて令和2年8月3日(月)までに提出を願う。県への採択結果の報告は8月20日(木)までに提出を願う。

＜ウ 教科書需要数について＞

県への報告が8月20日(木)提出〆切となっているので、各教育委員会で対応をお願いする。

＜エ 採択協議会の会計報告について＞

事務局より後日、各教育委員会に送付する。
議長：その他、委員から何かあればお願いします。
特になければ、以上で議事を終了する。

4 閉 会

秩父市教育委員会事務局教育研究所長
第2回第15採択地区教科用図書採択協議会を閉会する。